

信念と情熱で道を切り開いてきた。長年の功績や貢献が認められた秋の叙勲の受章者たち。大き

な榮譽を喜び、次世代のため、さらなる尽力を誓った。（3面関連）

秋の叙勲 喜びの声



国産塩の利用呼びかけ

「生活に不可欠な塩の国内生産を維持するため、食品メーカーなどに国産塩の高い品質や安全性を訴えて利用を呼びかけてきた」。今年3月まで10年間、製塩業者でつくる日本塩工業会（現日本塩協会）の代表理事副会長として業界の振興に取り組んだ。

江戸時代の1829（文政12）年から続くナイカイ塩業（倉敷市）の社長。輸入品との競合やエネルギーの高騰などで業界の環境が厳しい中、「各社が切磋琢磨して安定供給に努めている。当社も生産性を向上させ、社員への利益還元も進めて職場の魅力を高めたい」と話す。

2009年から8年間、県公安委員に就き、うち1年は委員長。「県警という大きな組織が健全に機能する方法を協議し、視野が広がった」と振り返る。現在は県経営者協会会長を務めており「人手不足や物価高といった課題の解決は簡単ではない。経営の在り方を考え続けたい」と先を見据える。

〈旭日小綬章〉
元日本塩工業会代表理事副会長
元岡山県公安委員長

野崎泰彦さん（70）
岡山市中区門田屋敷